

全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム

地方創生に産官学連携はどのような役割が期待できるか
2023年9月3日



民学産公官の協働による コミュニティ創生とDX化を考える

杏林大学客員教授
総務省行政評価局アドバイザー
こども家庭庁参与
前東京都三鷹市長 (2003年～2019年)

清原慶子

本日の構成

1. 「民学産公官の協働」について
2. 各省で進めている地域コミュニティに関する取組
3. 三鷹市と杏林大学の協働の取組み事例
4. 「デジタル田園都市国家構想」にみる
地域社会と大学の協働
5. 大学が地域課題解決に期待されるチカラ

5. 大学が地域課題解決に期待されるチカラ

1. 地域の実態と課題の把握への貢献

(1) 多様な視点からの課題発見

⇒「高齢者」「障がい者」「こども・若者」、誰一人取り残さない視点

(2) 具体的で適切なデータ把握

⇒社会課題解決に向けた研究調査力

⇒医学・理工系・社会科学・人文科学等の分野を超えた学際的研究の貢献度高い

⇒EBPMへの貢献

2. 地域の課題解決に向けた体制づくりへの貢献

(1) 多様な主体の参画を促す「コミュニケーション」

⇒公正中立な立場による民学産公官の多様な地域資源のネットワーク化

⇒住民・多様な関係機関との「協働」「協創」のプラットフォーム

(2) 具体的な課題解決の担い手づくり

⇒若者・成人の学び直しの機会の提供

3. 多世代間・多様な組織間をつなぐ、むすぶ、「コーディネート」の能力の発揮

(1) 初等中等教育において求められている【地域に開かれた教育課程】

高等教育に求められてきた【地域に開かれた高等教育】

⇒多分野の教員・研究者間での共同研究・共同ソリューションの展開と社会の実相に則した政策研究等の質の向上